

平成29年度 第3回宮崎市総合計画審議会 議事録

日時：平成29年11月14日

13:40～14:14

場所：宮崎観光ホテル 緋耀

【河野部長】

ただ今から、平成29年度第3回宮崎市総合計画審議会を開催いたします。

私は、本日の進行を務めさせていただきます宮崎市企画財政部長の河野でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

また、本日は、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、宮崎市総合計画審議会条例第5条第3項の規定により、会議が成立していることを報告いたします。

それでは、初めに、戸敷 市長がごあいさつ申し上げます。

【戸敷市長】

みなさん、こんにちは。大変、ご多忙の中、平成29年度第3回総合計画審議会にご出席いただき、感謝申し上げます。

先日、第五次総合計画の案について、市議会に説明をさせていただきました。また、市民の皆さまには、基本計画の案について、パブリックコメントを実施しました。その中で、ご意見をいただきましたので、本日は、その内容と対応をお示しし、答申という形で最終的な結論を出していただきたいと考えております。

皆さまもご存じのとおり、2060年には、宮崎市の人口が29万人にまで減っていくという推計がなされています。この人口減少のスピードをできるだけ抑制していくために、今後のまちづくりのあり方をこの第五次計画で示し、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。

本日は、成案を得て、12月議会に基本構想を提案したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【河野部長】

ありがとうございました。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第3の報告事項になりますが、ここからは、会長の國武センター長に議長をお願いしたいと思います。

【國武会長】

宮崎大学 産学・地域連携センターの國武でございます。

私の方で、進行してまいりますので、本日も、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

本日は、戸敷市長のご挨拶にもありましたとおり、これまで、委員の皆様方にご審議いただきました第五次宮崎市総合計画の（案）について、審議会から答申すること

次に、89ページをお開きください。

重点項目5-1の「コンパクト化とネットワークの形成による『都市機能の充実』」の主要施策2の「広域公共交通網の構築」のところです、「宮崎と九州の都市を結ぶ場合には、高速バスが効果的であり、有機的に繋がっていると思うが、取組には、高速道路に関する視点が入っていない」とのご意見をいただきましたので、2つ目の項目になりますが、「一ツ葉有料道路の無料化や東九州自動車道の整備状況を見据え、イベント活動における沿線自治体のPRのほか、国や県に対して、東九州自動車道の4車線化や安全対策の充実を働きかけるなど、高速道路の利用者増加を図る」という表現を新たに加えております。

次に、[資料1](#)の2の市議会の全員協議会におけるご意見になりますが、「都市計画マスタープランでは、コンパクトシティを進めていくこととしているが、交通利便性の良くない地域においては、今後、更に交通のネットワークの問題が切実になってくるため、生活するための施策の構築について必要性を感じている」とのご意見をいただきました。

このご意見を踏まえ、基本構想になりますが、2箇所、内容を見直しております。

初めに、[資料2](#)の14ページをお開きください。

4の将来の都市構造の(1)の目指すまちづくりには、③として目指す都市構造を示しておりますが、2段落目の3行目の末尾からになりますが、「人口減少・超高齢社会に適応した地域における交通体系の構築を図る」という表現を加えるとともに、下から2行目になりますが、これまでの「コンパクトシティ」という表現を「多拠点ネットワーク型コンパクトシティ」という表現に変更しております。

次に、20ページをお開きください。

重点項目5-1の「コンパクト化とネットワークの形成による『都市機能の充実』」のところです、「地域における住民生活に必要な移動手段を確保する交通ネットワークを構築する」という表現を加えております。

それでは、ここで、[資料1](#)をご覧ください。

3の第五次総合計画前期基本計画(素案)に関するパブリックコメントのご意見になります。

今回のパブリックコメントでは、2名の方から9件のご意見をいただいております。

主なご意見といたしましては、2番は子育て支援の充実、3番から5番が、公共交通網の構築、6番はコンパクトシティの形成、9番は就業環境の改善に関するものとなっております。

この中で、5番になりますが、「主要施策『広域公共交通網の構築』のKPIに、バス、フェリー、航空の指標はあるが、鉄道の指標がないのは何故か」というご意見をいただいております。

それでは、ここで、[資料2](#)の89ページをお開きください。

中程の重要業績評価指標(KPI)のところになりますが、鉄道は公共交通網の一つとして、重要な役割を担うと考えておりますので、2つ目に「JR九州の主要3駅(宮崎駅、南宮崎駅、宮崎空港駅)の1日あたりの平均乗客数」を加えております。

以上が、変更した内容の説明になります。

なお、この資料2の35ページ以降になりますが、第4章の「健全な行財政運営の確保に向けた取組」と第5章の「まちづくりの基本目標を達成する具体的な取組」ですが、重点目標やKPIの中には、数値目標の設定できていない項目があります。

これらの項目については、関連する個別計画と関係しておりますが、現在、個別計画の策定中であり、数値目標を検討しているところですので、整合がとれるよう、速やかに対応してまいりたいと考えております。

説明は、以上でございます。

【國武会長】

ありがとうございました。

ただ今、(1)の第五次宮崎市総合計画(案)について、前回の審議会やパブリックコメントなどを踏まえた対応について、事務局から説明をいただきましたが、ご質問やご意見等がありましたら、お願いいたします。

パブリックコメントが9件出ていますが、非常に的確なものもありました。事前に委員の皆様にはご確認いただいていると思いますので、概ねこの内容でいいのではないかと考えております。

それでは、特にご意見もないようですので、次に、4の協議事項の(1)の答申(案)について、ご審議いただきたいと思います。

審議会では、昨年8月の第1回の会議におきまして、第五次宮崎市総合計画の策定について、市長から諮問を受け、これまで5回の審議を行ってまいりました。

今回の審議会をもちまして、審議を終えることとしておりますので、答申と第五次宮崎市総合計画(案)を、戸敷市長に手交したいと考えております。

そこで、答申(案)については、事前に、委員の皆様にご確認いただいていると思いますが、これまでの審議の過程でいただいたご意見等をもとに、私の方で作成いたしましたので、事務局から、本文の朗読をお願いいたします。

【迫田室長】

それでは、私の方で記書き以下を朗読させていただきます。

1、第五次宮崎市総合計画の計画期間においては、本格的な人口減少社会に突入することから、市民や事業者の人口減少に対する認識を高めるとともに、男女共同参画社会の実現が図られるよう、具体的な取組を推進すること、2、地勢をはじめ、人口規模や人口減少のスピードのほか、防災や福祉に対する取組など、地域を取り巻く環境や地域が抱える課題は、それぞれ異なるため、地域の多様性を重視し、地域の自主的な取組や地域内外の連携した取組を促進するとともに、地域と行政が協働して、住民生活に必要な公共サービスの確保を図ること、3、多様な働き方を促し、ワーク・ライフ・バランスの普及を図るとともに、都市機能が集積する中心市街地の高度化を推進し、都市としての活力を向上させていくこと、4、第五次総合

計画における施策等の検証に当たっては、施策の実効性を高めるため、適切な成果指標の設定のほか、投入した事業費を考慮し、成果指標に係る実績を検証するなど、より実態に即した形の評価方法を検討すること、以上で、ございます。

【國武会長】

ありがとうございました。

答申（案）の作成に当たりましては、本文に加えて、これまでの審議会でもいただいたご意見をまとめたものを箇条書きにしております。

この答申（案）につきまして、何かご質問、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

よろしいでしょうか。特に、ご意見もないようですので、ご提案しました答申（案）をもって、審議会の答申とさせていただきたいと思っております。

ありがとうございました。

以上で、本日の審議の全てを終了させていただきます。

これまで、5回にわたり、審議会を開催してまいりましたが、委員の皆様方のご協力により、答申をまとめることができました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返します。

【河野部長】

國武会長、ありがとうございました。

以上をもちまして、平成29年度第3回宮崎市総合計画審議会を終了いたします。

それでは、引き続き、答申に移らせていただきます。

会場のレイアウトを変更いたしますので、しばらくの間、お待ちください。

《レイアウト変更》

【河野部長】

お待たせいたしました。

ただ今より、第五次宮崎市総合計画の策定に係る諮問に対し、國武会長から戸敷市長への答申を行いたいと思っております。

それでは、國武会長、お願いいたします。

【國武会長】

平成28年8月1日付け宮企政第185号で諮問のありました第五次宮崎市総合計画の策定について、別添のとおり、答申いたします。なお、答申に当たっては、下記の意見を申し添えます。

また、将来の都市像である「未来を創造する太陽都市『みやぎき』」の実現に向け、地域の多様な主体と連携し、新たな価値を継続して創出していけるよう、積極的な施策の展開をお願いいたします。

1、第五次宮崎市総合計画の計画期間においては、本格的な人口減少社会に突入することから、市民や事業者の人口減少に対する認識を高めるとともに、男女共同参画社会の実現が図られるよう、具体的な取組を推進すること、2、地勢をはじめ、人口規模や人口減少のスピードのほか、防災や福祉に対する取組など、地域を取り巻く環境や地域が抱える課題は、それぞれ異なるため、地域の多様性を重視し、地域の自主的な取組や地域内外の連携した取組を促進するとともに、地域と行政が協働して、住民生活に必要な公共サービスの確保を図ること、3、多様な働き方を促し、ワーク・ライフ・バランスの普及を図るとともに、都市機能が集積する中心市街地の高度化を推進し、都市としての活力を向上させていくこと、4、第五次総合計画における施策等の検証に当たっては、施策の実効性を高めるため、適切な成果指標の設定のほか、投入した事業費を考慮し、成果指標に係る実績を検証するなど、より実態に即した形の評価方法を検討すること、以上です。

<会長から市長へ手交>

【河野部長】

ありがとうございました。

それでは、ここで、戸敷市長から、御礼を申し上げます。

【戸敷市長】

昨年度から第五次宮崎市総合計画の策定に向け、皆様方には熱心にご審議いただき、本日、答申をいただきましたことに、あらためて感謝申し上げます。

答申にもありましたとおり、第五次総合計画の期間には、本格的な人口減少社会に突入していきます。将来にわたって、本市が都市機能を維持し、県都として、政治・経済の中心となり、そして県内の市町村から期待され、信頼されるまちづくりを推進していくためにも、この第五次総合計画の取組を着実に進めていきたいと考えております。

先程も申し上げましたとおり、来たるべき人口減少社会に対し、私たちは責任を持って、人口減少のスピードを鈍化させる取組を考えていく必要があります。

この基本構想は、11月27日に開会する宮崎市議会に提案し、了解を得て、来年度からしっかり取り組んでまいりたいと考えております。KPIなどの数値目標も設定しておりますが、その実現に向けて、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

委員の皆様方には、昨年度から、長期にわたり、ご審議いただきましたことに、深く感謝申し上げます、お礼に代えさせていただきたいと思っております。

誠にありがとうございました。

【河野部長】

それでは、以上をもちまして、第五次宮崎市総合計画の策定についての答申を終了させていただきます。

委員の皆様方におかれましては、長期にわたり、ご協力をいただき、ありがとうございました。